

平成27年度 八代市立博物館未来の森ミュージアム 活動記録

◆特別展覧会活動（特別展示室・第2常設展示室）

- (1) 春季特別展覧会「豪華絢爛！長崎刺繍～くんに息づく風流の心～」
会期 平成27年4月24日（金）～6月7日（日） 開館日数 39日間
入館者 3,079名
- (2) 夏季特別展覧会「なるほど！妙見さん～これでキミも妙見博士！～」
会期 平成27年7月17日（金）～8月30日（日） 開催日数 38日間
入館者 2,070名
- (3) 秋季特別展覧会「交流する弥生人～邪馬台国の時代のやつしろ～」
会期 平成27年10月23日（金）～11月29日（日） 開催日数 33日間
入館者 3,390名
- (4) 冬季特別展覧会「わび・さびの美学から清雅な文人趣味まで～八代焼の茶道具と花入」
会期 平成28年2月12日（金）～3月27日（日） 開催日数 39日間
入館者 2,024名

◆常設展示活動（第1常設展示室・第2常設展示室）

第1常設展示室（各コーナーを2～6期に分け展示替）

考古（須恵器の美、弥生時代後期の土器、再発見！八代の古墳）／八代城（瓦からわかる麦島城・八代城）／妙見祭（笠鉾のヒミツ、獅子組のヒミツ、妙見宮の絵馬）／古文書を読む（古文書をのこす、悲劇の武将・尾藤金左衛門、知行宛行状、古文書が語る加藤正方、西山宗因の世界、釈迦院の古文書）／信仰のかたち（釈迦院の仏神像、盛光寺の阿弥陀如来、極楽浄土への憧れ）／くまもとの金工（肥後鐔の魅力）／八代焼（象嵌の技法、飲食の器、茶の器、江戸末～近代の諸窯）／和紙（千代紙、広重の絵封筒、八代の御用紙漉き、さまざまな和紙の用途、和紙作りの道具）／民俗（八代製紙株式会社、切組灯籠、かたちのヒミツ）／米作りの道具、むかしの道具

第2常設展示室（松井文庫所蔵品常設展示）

- ・松井家の江戸参府 6月9日（火）～7月12日（日）
- ・宸翰と古筆～優美なる書の世界～ 9月1日（火）～10月18日（日）
- ・屏風絵の世界 12月1日（火）～1月24日（日）
- ・お姫さまの婚礼道具 1月26日（火）～3月13日（日）

◆講座・講演会活動

日時	内容	講師	参加者
4月25日（土）	春季展講演会「長崎くんと長崎刺繍について」	原田博二氏（元長崎市立博物館長）	63人
5月24日（日）	友の会講演会「長崎刺繍の制作工程について～万屋町傘鉾垂「魚尽し」制作秘話～」	嘉勢照太氏（長崎刺繍技術保持者）	95人

5月31日(日)	体験講座「長崎ししゅう職人のワザに挑戦！～糸より体験講座とコースター作り～」	嘉勢路子（長崎刺繍再発見塾塾長）	67人
7月25日(土)	夏季展講演会「なるほどなっとく！妙見さんの歴史」	鳥津亮二（当館学芸係長）	94人
8月9日(日)	歴史フィールドワーク「親子で探検！いざ「妙見さん」へ」	当館学芸員	18人
10月31日(土)	秋季展講演会「邪馬台国の時代のやつしろ」	西山由美子(当館学芸員)	101人
11月7日(土)	秋季展講演会「東アジアの中の弥生文化」	甲元眞之氏（熊本大学名誉教授）	80人
11月14日(土)	こども講座「弥生人の宝物、小銅鐸をつくろう！」	西山由美子(当館学芸員)	36人
11月28日(土)	やつしろ連歌会	藤江正謹氏（杭全神社宮司）他4名	46人
2月27日(土)	冬季展体験講座「江戸時代の八代焼にふれる」	石原浩(本館学芸員)他	18名
3月5日(土)	冬季展講演会「八代焼象嵌を考える - 朝鮮半島、九州陶磁の比較から - 」	家田淳一氏(佐賀県立九州陶磁文化館学芸課長)	78人
8月～12月(8回)	古文書講座(初級編)	林千寿(本館学芸員)	延べ236人
通年(11回)	古文書講座(上級編)	蓑田勝彦氏(八代古文書の会)	延べ148人
その他	外部への講師派遣 計21回	本館学芸員	延べ659人

◆主な調査事業

松井文庫所蔵古文書調査事業（平成6年度～22年目）

- ・調書の作成と修理 平成27年6月15日(月)～6月19日(金) 257通
調査指導 元 北九州市立いのちのたび博物館歴史課長 永尾正剛
調査協力 川口恭子(永青文庫研究センター)、熊本県立美術館、福岡市教育委員会、熊本県立図書館、北九州市立いのちのたび博物館、肥後銀行ギャラリーなど
- ・『松井文庫所蔵古文書調査報告書18』の刊行
- ・写真撮影(3月上旬 3日間) 257通

麦島勝撮影写真デジタルアーカイブ事業（ふるさと八代元気づくり応援基金活用事業）

平成26年度に寄贈を受けた写真家麦島勝氏撮影の写真作品(プリント)約4,000点について、デジタルデータ化と資料情報の調査・整理を、本年度より3ヵ年かけて行う。初年度は4,000点のスキヤニング(デジタル画像化)と1,300点の調査・データ入力を行い、その成果をデータベース化し、博物館ホームページで公開した。

◆入館状況

開館日数 291日

入館者総数 23,317人(有料入館者6,521人/小中学生4,548人/無料入館者12,248人)